神戸新聞 2015年04月02日 木曜日 面名 阪神 １４ 25ページ

「[redacted]」ふわり舞う

ギフチョウ羽化始まる

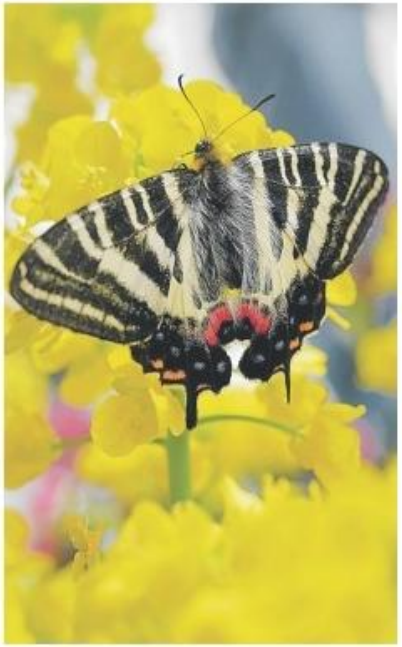
宝塚市立宝塚自然の家（大原野）で、飼育されているギフチョウが羽化を始めた。数十匹が専用ケージの中をふわりふわりと飛び回り、時折、差し入れられた花の蜜を吸っている。

宝塚自然の家

ギフチョウは羽を広げても約5チと小さく、本州にのみ生息する。文様の美しさと、早春に羽化する性質から「春の女神」と呼ばれる。生息数は減っており、兵庫県では絶滅の危険が増大している種に指定されている。

自然の家は1973年から毎年150～200個の卵を採取し、チョウに育ててきた。職員の石井伸啓さん(31)は「多くのギフチョウを間近で観察し、美しさやかわいらしさを感じてほしい」と話していた。羽化は4月中旬まで続く。宝塚自然の家☎0797・91・0314（水曜休館）

（三津山朋彦）



羽化が始まったギフチョウ＝宝塚市大原野

はんしん春コレ COLLECTION

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名 前【　　】

① 宝塚市立宝塚自然の家で、羽化を始めたのは、何ですか？

② この昆虫が羽を広げた大きさはどれくらいありますか？

cm

③見出しの隠れた言葉は、何でしょう？漢字とかな4字を入れましょう。

④ 記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましょう。

学びポイント

・このチョウの生息数は減っていることで、絶滅の危険が増大している種に指定されています。このチョウを見つけたときはどうすればよいか、学校で話し合ってみましょう。

NIEワークシート／小学生／国語、理科、朝NIE